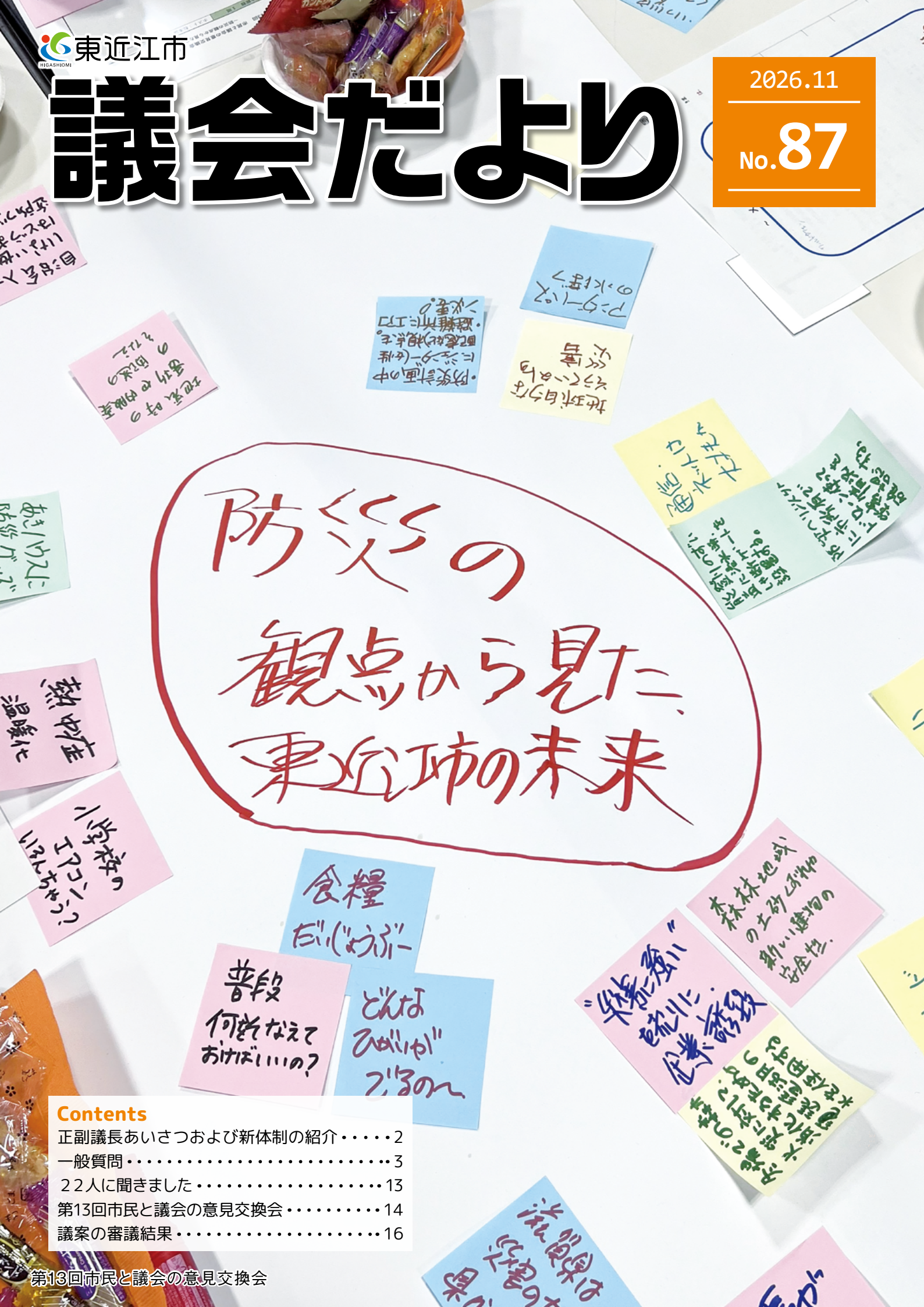
東近江市

議会だより

2026.11

No.87



Contents

正副議長あいさつおよび新体制の紹介……2
一般質問……3
２２人に聞きました……13
第13回市民と議会の意見交換会……14
議案の審議結果……16

第13回市民と議会の意見交換会

再登板、結果を出す

議長　西村　和恭
副議長　田井中 丈三

このたびの役員改選で、議長ならびに副議長の要職に就任しました。共に2度目の登板で、その職責の重さを痛感しております。

議員定数が3名減となった一年前に議長に就任し、その職責を十分に認識しながら、議会運営と議員力向上を目指し、「着眼大局、着手小局」の覚悟で臨みましたが、目先のことに追われ自分の甘さが出てしまいました。それ故に、小さな積み重ねができずに、大きなことは成しえないという、現実を突きつけられ、自らの無力さを痛感した一年でもありました。

このようなわたくしに、再登板の機会を与えてくださり、その期待に報いるためには、結果を出すことであると自覚しております。

ごく当たり前のことですが、今一度、原点に立ち返り、

一、先輩諸氏が築き上げてこられました東近江市議会の良さを守りつつ、見直すべきところは議員間で議論を尽くし、議会の機能を高めてまいります。

一、東近江市議会基本条例に基づき、行政のチェック機能、市民の意思反映、提言と政策立案など、二元代表制としての議会の役割を果たしてまいります。

一、議員自らが自己研さんを重ね、市民の様々な意見を公正に捉え、全議員が市民の皆様から頼られる議員を目指し活動してまいります。

すべては、東近江市民のために働いてまいります。市民の皆様、どうか、東近江市議会の底力に強い関心をもって注目し続けてくださるようお願い申し上げます。



新体制の紹介

議長　西村　和恭　　副議長　田井中 丈三　　監査委員　市木　徹

所属する委員会の名称	東近江市民クラブ											太陽クラブ			日本共産党		公明党		万葉会		会派無
	奥村 忠彦	澤居 寛明	森 鉄兵	山本 直彦	青山 孝司	鈴木 則彦	西村 和恭	田井中丈三	西﨑 彰	西澤 由男	市木 徹	大橋 保治	松本 喜美	戸嶋 幸司	安田 高玄	山中 一志	田郷 正	山下 敦司	吉坂 豊	西川 清里	中村 和広	小梶 昌巳
議会運営委員会			●	●	●	●						◎		○			●		●		●	
予算決算常任委員会	●	●	●	◎	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●
総務常任委員会		○			◎			●	●				●			●						●
福祉教育こども常任委員会	●		◎								●			○			●	●		●		
産業建設常任委員会				●		◎				○		●			●				●		●	
河川整備推進特別委員会	●				●	◎			○						●	●		●			●	
(仮称)黒丸SIC・文化スポーツ学研ゾーン整備計画調査特別委員会			●		●	○				◎	●			●			●	●			●	
議会だより編集委員会	●	●	○										●	◎		●		●		●		●

◎委員長　○副委員長　●委員

二次元コードを読み取ることで、各議員の質問の様子を映像にてご覧いただけます。



無会派

近江鉄道運賃の見直しを

小梶　昌巳

Q 近江鉄道の運賃は、距離計算において1キロメートル未満の端数が切り上げられることから運賃区分が変わり、わずかな距離の違いで運賃が上がる区間がある。

例えば、八日市駅から近江八幡駅までは9・3キロメートルで、端数が切り上がることで10キロメートルの区分となる。その結果、新八日市駅から近江八幡駅までの区間と比較して運賃に70円の差が生じている。

近江鉄道線の運賃に係る距離計算の端数処理について、営業キロの1キロメートル未満の端数を切り上げて運賃を算定する方式から、四捨五入方式への変更を近江鉄道(株)に申し入れることはできないか。

A 具体的な運賃としては、八日市駅から近江八幡駅までの区間は10キロメートル460円、新八日市駅から近江八幡駅までの区間は9キロメートル390円となっています。

運賃設定は、鉄道会社の経営判断に基づくものであり、市から直接要望できる立場にありません。

一方で、近江鉄道線は上下分離による公有民営方式へ移行しており、他の民間企業とは性質が異なるものと認識しています。そのため、近江鉄道沿線自治体の担当者会議などの場でご意見があったことを伝えていきたいと考えています。





万葉会

安心して働き続けられる環境を

西川　清里

Q ハラスメントは、生活や人生にも影響を及ぼす人権問題であるが、

①適切な指導とパワーハラスメントをどのような基準や考えで区別しているのか。

②職員が指導とパワーハラスメントの違いを理解するための研修や啓発を行っているのか。

A ①適切な指導は、業務の遂行や職員の育成・成長を目的として行われるものであるのに対し、人格を否定するような言動、業務上明らかに不要な苦痛を与える行為、過度な叱責など指導の範囲を超えるものはパワーハラスメントに該当するものと考えています。

②管理職などの研修や職場内でのグループ研修において理解を深めています。

Q 策定中の第4次男女共同参画推進計画において、女性が安心して働き続けられる環境づくりをどう位置付けているのか。

A これまでから第3次男女共同参画推進計画においても、誰もがその個性と能力を十分に発揮できる社会を築く上で、重要な施策の一つであると認識して取り組んできました。

第4次男女共同参画推進計画においても、引き続き重要な施策と位置付け、男女を問わず誰もが仕事と生活の調和を図りながら自分らしい生き方や働き方を選択できる社会の実現を目指していきたいと考えています。





万葉会

避難所の暑熱対策は大丈夫？

中村　和広

Q 大規模災害時の避難所ともなる体育館への空調設備の早期整備について、
①全中学校に、より早く整備を完了させる考えは。
②小学校体育館について、具体的な整備計画を策定し、できる限り早期に整備を開始しては。
③空調設備の無い体育館で避難生活を続ける市民の暑熱対策をどのように行うのか。
④地域の体育館について、大規模改修や施設更新にあわせた整備を含め、空調設備導入の具体的な計画を策定する考えは。

A ①令和8年度に朝桜、五個荘中学校、令和9年度の夏を目標に聖徳、玉園中学校の整備を進めています。船岡、永源寺、愛東中学校については工事を前倒しし、令和9年度末の整備を目標としています。
　また能登川中学校は、令和10年度中に体育館の大規模改修工事とあわせて空調整備を行う計画です。
②令和13年度完了を目標として取り組んでいきます。
③スポットクーラーなどの資機材を活用するとともに、災害時応援協定に基づく事業者などの協力を得ながら、必要な冷房機器などを確保します。
④大規模改修や施設更新の具体的な計画は現時点ではありませんが、計画を作成する際には、空調設備の導入もあわせて計画する必要があると考えています。



今年度に空調が整備される朝桜中学校体育館



東近江市民クラブ

グローバルな人材育成を

青山　孝司

Q 文化やスポーツ、教育などを通じて、国内外の都市同士が親善と相互理解を深める取り組みである姉妹都市交流。
　日本国内では1955年に長崎市と米国のセントポール市が提携したのが最初で、現在は1800を超える自治体で実施されている。
　本市においては、五つの海外都市（アメリカ、カナダ、韓国、中国、スウェーデン）と姉妹都市・友好都市提携を結んでいるほか、一つの海外都市（韓国）と文化交流協定を締結し、親善と相互理解を深めているが、
①若い世代を対象とした使節団交流事業を行う考えは。
②交流が本市にもたらす効果は。

A ①すでに一部の姉妹都市との間で中学生交流を中心とした使節団の派遣や受け入れをしています。
　国際的視野を持った若者の人材育成は重要であると認識していることから、今後も積極的に若い世代の交流事業を展開したいと考えています。
②姉妹都市交流は、市民の国際感覚の育成につながると考えており、特に姉妹都市奨学生の派遣や中学生交流などは国際的視野を持った若者が将来的に地域や国際社会で活躍するグローバルな人材に育つための一助になるものと考えています。



友好親善使節団の交流風景



東近江市民クラブ

まちなかを耕せ

鈴木　則彦

Q 令和8年7月にアル・プラザ八日市店内にオープンした地域若者交流拠点「耕（こう）」について、開設の狙いと、今後の展開は。

A 放課後などに安心して自由に集まることのできる居場所がない高校生・大学生年代の若者に対し、気軽に立ち寄れて充実した時間を過ごせる居場所を提供することが目的です。
　今後は若者の主体性や若者のエネルギーを生かし、市が主催するイベントなどへの積極的な参画を促していきます。

Q 地下水再認識プロジェクトについて、
①プロジェクトを始めた経緯と、本市が目指すところは。
②国や県に対し、森林再生について問題提起をする考えは。

A ①農業や産業で多くの地下水を利用しており、今後も需要の伸びが見込まれることから、まず本市の地下水の全体像を把握する必要があると考えています。目指すのは、その源泉である森林環境や水循環の仕組みを明らかにし、「地下水は有限かつ貴重な資源である」との認識を地域住民・事業者・行政が一体となって共有することです。
　これを契機として、森林保全や水源涵養（かんよう）に向けた具体的な取り組みへの展開を図っていきます。
②国や県に対して、荒廃森林の再生や保水力向上に資する施策の推進について継続的に働きかけていきます。



東近江市地域若者交流拠点「耕」



東近江市民クラブ

災害時の生活用水の確保は

奥村　忠彦

Q 災害時には、飲料水だけでなく、トイレの洗浄や清掃、洗濯、衛生管理などに使う生活用水も必要となるが、
①断水時の生活用水を確保するため、井戸や湧水などの地下水資源を防災上の資源としてどのように位置付けているのか。
②災害時には、道路が寸断され、地域間の移動が困難になる可能性がある。人口分布や避難所の配置を踏まえ、身近な場所で生活用水を確保できる体制が必要と考える。

A ①災害による断水時には、トイレの洗浄や清掃などに使用する生活用水の確保は極めて重要です。本市では、地下水資源を飲料水ではなく生活用水として使用することを基本としています。非常災害用井戸の登録に加え、民間事業者からの寄付による浅井戸を指定避難所に30カ所整備するなど、断水時の生活用水を補う地域の重要な防災資源と位置付けています。
②非常災害用井戸と指定避難所に設置されている浅井戸は、合わせて98カ所あります。内訳は能登川地区31カ所、愛東地区22カ所、湖東地区19カ所、八日市地区15カ所、蒲生地区5カ所、永源寺地区と五個荘地区が各3カ所で、地域によって登録数に差が生じています。



避難所に設置されているポンプ



東近江市民クラブ　大橋　保治
全国へ森里川湖を発信！

Q 全国都市緑化フェアについて、
①目的や波及効果を検証しては。
②フェアへの参画で、まちづくりにおいて大変意義のある取り組みができると考えるが見解は。
③本市の森里川湖を生かし、今後どのような取り組みに展開できる可能性があるか。
④令和12年に滋賀県と草津市の共催で誘致計画が進められている。本市でも取り組んでは。

A ①都市緑化意識の高揚や緑豊かな都市づくり実現を目的として開催されており、大変意義を持つものと認識しています。
　波及効果についての検証は、本市の豊かな自然環境を生かした魅力あるまちづくりの貴重な参考情報になると考えます。
②公園の利活用だけでなく、環境教育、観光・産業振興、地域活性化など多角的な波及効果をもたらし、将来のまちづくりに大変意義のあるものと考えます。
③森里川湖の豊かな自然環境を生かした環境学習や保全活動などの取り組みを推進しています。
　こうした取り組みを通じ、継続的な緑化活動に展開できる可能性があると考えます。
④将来のまちづくりに向けた夢のある前向きな提案として受け止めていますが、県や草津市との調整、財政面、適切な会場の確保や運営体制の構築など、多くのクリアすべき条件や課題があり、現時点では参画は難しいと考えています。





東近江市民クラブ　西澤　由男
河川愛護も年々負担に…

Q 河川愛護活動では、若者不在の30軒ほどの住民が延長2キロメートルもの法面を夏草と格闘しながら一年に2回も3回も草刈りをするのに対し、報償費は1回分しか支払われない。
①本事業の現状や自治会の要望を県に伝えることへの見解は。
②現時点での最良の実施方法は。
③草刈り機などの購入支援策は。

A ①実情に即した制度運用の見直しや負担軽減につながる支援の充実を要望しています。
②活動範囲の縮小や重機による作業委託を提案しています。
③草刈り機などの購入には、まちづくり資料集に掲載されている助成事業が活用できます。

Q 地域保全活動の持続性の回復には、水遊びができ、憩える水辺空間の確保や豊かな田園風景の中でのイベント開催など、河川や農地に関心を引く工夫が必要である。
　希薄になった河川や農地との関係の再構築についての見解は。

A 生活の糧を得るための農地や水源としての河川は、生活を支える大事な社会資本でしたが、近年の生活様式の変化などで、農業を営む人々以外は河川や農地に関わる機会もほとんどなくなりました。
　自分たちの地域は自分たちの力で美しく未来へ残すべきという意識を持つことで、関係性の再構築を図るべきと考えます。


法面の草刈りは重労働



東近江市民クラブ　田井中　丈三
自身と大切な人の命を守る

Q 地球温暖化に起因するとされる異常気象は、この夏もさまざまな特異現象として現れた。
　酷暑の連続や、台風の巨大化と従来にない動き、線状降水帯による大雨などで浸水被害が発生しているが、
①避難所はどの警戒レベルで開設されるのか。
②防災情報の伝達手段は。

A ①避難所の開設は、防災気象情報の警戒レベルだけで判断せず、河川水位や土砂災害の危険度、気象予測、現地の状況を総合的に勘案して行います。
②市が避難情報を発令した場合、戸別受信機をはじめ、緊急速報メール、ホームページ、SNS、東近江スマイルネットなどの複数の手段を活用し、迅速かつ確実な情報伝達に努めています。

Q 夏の伊庭内湖は、おとしまで水面の大半が水草に覆われていたが、水草の除去作業が行われたことにより、元の姿を取り戻している。
①令和8年度の水草駆除範囲と、その作業費用は。
②令和9年度以降の対応は。

A ①伊庭内湖の総面積約52ヘクタールのうち、約24ヘクタールを対象としており、その費用は約3800万円です。また、陸揚量は約400トンを見込んでいます。
②県と協働して実施できるよう調整中です。その後は繁茂状況などを踏まえ適切に判断します。


藻刈船・手前に写る水草が内湖全体を覆っていた



東近江市民クラブ　森　鉄兵
クビアカツヤカミキリに要注意

Q 特定外来生物であるクビアカツヤカミキリの対策について、
①市内で被害を疑う事例は確認されているか。
②市が管理する桜などの調査や監視をどのように行っているか。
③農業者への周知や果樹園における発生状況の把握、監視をどのように行っているか。
④発見時には、速やかに調査や防除に着手できる体制を整えておくべきと考えるが。

A ①県や農業関係者などと情報共有を図っていますが、これまで市内で確認された事例は把握していません。
②職員などが公園や学校の日常管理、道路パトロールにあわせて、可能な限り確認を行っていますが、広範囲かつ多数の樹木を全て調査・監視することは現実的に困難であるため、本市ホームページを通じて市民の皆様へ情報提供の協力を求めています。
③果樹農家へは直接注意喚起を行っています。また、県の普及指導員が各果樹園を巡回し、被害内容、発生時の対応方法について周知するとともに発生状況の把握に努めています。
④早期発見・早期対応が極めて重要であると認識しています。
　万が一、被害などが確認された際には、国・県や地域住民と連携し、国の補助制度なども活用しながら、迅速かつ効果的な防除措置を講じられるよう体制の整備・充実に努めていきます。





東近江市民クラブ

自治会館ＬＥＤ化支援の継続を

澤居　寛明

Q 令和9年12月末に一般照明用蛍光灯の製造が終了することを受け、自治会施設ＬＥＤ化支援補助金が創設された。この補助制度は、令和8年度限りとされ、予算額は1千万円である。申請には、設置完了写真が必要であり、先着順で受け付けされているが、

①令和9年度も補助制度を継続する考えは。

②自治会施設の照明器具が受注生産品で、発注してから設置完了までに時間を要する場合の救済制度の考えは。

A ①既に自治会施設のＬＥＤ化支援補助金に係る状況把握を実施しています。今後、状況に応じて制度の継続を検討します。

②今後、研究を進めます。

Q 職員の働き方改革を目的に窓口の受付時間が短縮されるが、取り残される保育現場の働き方改革について、

①給与面を含めた待遇改善を検討する考えは。

②令和9年度予算編成に向け、具体的な取り組みを予算に反映する考えは。

A ①保育士の給与などの処遇は、一定の水準にあるため、職場環境改善などについて順次取り組んでいきます。

②職場環境の改善や事務の効率化に必要な予算を要求したいと考えています。



汎用品への交換が難しい自治会館



東近江市民クラブ

新たな橋でまちの一体感を醸成

山本　直彦

Q 愛知川を渡河する新たな橋梁の整備について、

①新たな橋梁を含むバイパス道路整備（案）の内容は。

②新たな橋梁に期待する効果は。

A ①合併から20年が経過しますが、愛知川で分断された市域の一体感を高めるための道路網の形成には課題があり、南北方向のアクセスでは、春日橋から紅葉橋まで愛知川を渡河する橋梁がないため、大幅な迂回を余儀なくされている状況です。

　また、この区間での橋梁整備は、以前から地元住民が強く要望されています。このため、愛東外町地先から高木町地先までの区間において、愛知川を渡河する橋梁と主要幹線道路を接続する約1・8キロメートルのバイパス道路整備（案）を県に要望しました。

②橋梁を含むバイパス道路を整備することで、国道307号中里交差点から新名神高速道路甲賀土山インターチェンジまでの全長約30キロメートルに及ぶ広域道路網を形成することができます。

　これにより、愛知川右岸と左岸を結ぶ生活圏や産業経済活動におけるアクセス課題が改善され、今後のまちづくりとして重要となる企業誘致の促進や、若者世代の定住増加につながると考えます。また、並走する国道307号の慢性的な渋滞の緩和、地域間交流の拡大など、さまざまな効果が期待できます。



春日橋より愛知川上流を望む



東近江市民クラブ

働きがい改革を

西﨑　彰

Q 市民サービスを向上させるためのマイナンバーなどと連携したＤＸ化の進捗状況は。

A デジタル化による市民の利便性向上を図るため、マイナンバーカードを活用した各種証明書のコンビニ交付や行政手続きのオンライン化など、市民が市役所の窓口に来ることなく、いつでもどこでも利用できる行政サービスの充実に取り組んでいます。

　住民票の写しや印鑑登録証明書などの各種証明書の取得状況は、令和7年度末時点でおよそ5割の方がコンビニ交付などを利用されています。

　また、行政手続きのオンライン化については、子育て支援や各種証明書の発行など、市民生活に密着した分野を中心とした手続きについて順次拡大しています。

Q 令和9年4月1日付け採用の職員採用試験の応募状況と、安定的な職員の確保対策は。

A 令和8年8月までに終了した採用試験への応募者数は159人で、うち事務職が91人、専門職が68人です。

　職員採用試験については、採用試験の時期や回数の見直しをはじめ、官公庁専用求人サイトの利用、動画やブログの配信、採用パンフレットの配布、大学訪問など毎年見直しを行い、優秀な人材の確保に向けた対策を進めています。





公明党

木造住宅の耐震改修促進を

山下　敦司

Q 木造住宅の耐震改修促進と支援制度の改善について、各支援制度の過去5年間の実績と代理受領制度を導入する考えは。

A 木造住宅耐震診断員派遣事業の実施件数は40件、木造住宅耐震改修等事業費補助金の交付件数は4件、耐震シェルターなどの補助金の希望件数、交付件数は、共に令和4年の防災ベッド1件です。

　代理受領制度については、申請者の資金準備に対する負担軽減において有効であるため、他市を参考に研究します。

Q 今後の学校運営について、

①芝生化された学校数、管理人の人数と年齢構成、将来にわたり維持していくための対応策は。

②学校再編を含めた学校の在り方を検討する上で、保護者などとの合意形成をどう進めるのか。

A ①校庭が芝生化された学校は8校あり、うち1校は学校管理、3校はスポーツ少年団による管理です。残る4校はボランティア団体による管理で、主に60代から80代の各学校5名程度の方に御協力いただいています。維持管理に課題が出てきた場合は口ボット芝刈り機の導入など、省力化を考えています。

②地域ごとに懇談会などを開催し、少子化の現状や学校が地域で果たす役割を再確認していただくとともに、特に子育て世代の意見を尊重しながら、共に検討を進めていきます。





公明党

お墓も見直す時代

吉坂　豊

Q 墓地行政について、
①改葬許可申請件数の推移は。
②公営墓地の墓じまいの件数は。
③公営墓地の空き区画数と管理料の滞納件数と未納額は。
④民間や地域で維持できなくなった共同墓地に対する支援は。

A ①令和3年度52件、令和7年度132件と増加傾向です。
②令和3年度16件、令和7年度27件です。
③8月末時点で空き区画は73区画、滞納22件、未納額は約135万円です。
④公営墓地以外の共同墓地に対する支援制度は現在ありません。

Q ごみ出しの方法や家具処分について、
①家具や寝具などの大型ごみは。
②家電製品の処分は。
③リチウムイオン電池の回収は。
④高齢者、障がい者などでごみ出しができない世帯への支援は。



A ①清掃センターへの持ち込み、粗大ごみ有料収集、許可業者に依頼する方法があります。
②リサイクル料金が必要なテレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコンは販売店や市の協定事業者での引き取り、県内の指定引取場所への持ち込みと①と同様の方法があります。
③本庁や各支所の窓口への持参や一般社団法人ＪＢＲＣの協力店舗で回収しています。
④全市民を対象としており、高齢者世帯なども同じ枠組みの中での支援となります。



日本共産党議員団

空調設備導入について

山中　一志

Q 小中学校体育館の空調整備について、
①中学校のスケジュールは。
②小学校のスケジュールは。

A ①中学校体育館の残り6校のスケジュールは、令和9年の夏を目標に聖徳、玉園中学校の整備を進めており、船岡、永源寺、愛東中学校については、令和9年度中に整備を行う予定です。また、能登川中学校は、令和10年度に体育館の大規模改修工事とあわせて整備を行う計画で、令和10年度末には全ての中学校体育館の空調整備が整う予定です。
②小学校体育館については、国が整備完了目標を前倒しした令和13年度を目標に国の支援制度をしっかり活用し、取り組んでいきたいと考えています。

Q 6月議会では「小学校をいつまでにやるという時期的なことについては答えられない」という答弁であったが、この3カ月間で、具体的に令和13年度という数字が示された。
市長の任期は令和11年2月までだが、令和13年度とは言わず、市長の任期中に全てやっていただけないか。



A 私の任期がいつの日か分かりませんので、今の時点で任期中にどうだと言われてもなかなか難しいですが、国の方針も明確に出たので、令和13年度で終わる、今はそれを目標に頑張っていきたいと思っています。



日本共産党議員団

地域医療は守られるのか

田郷　正

Q 12月に蒲生医療センターは19床の診療所から35床の病院になるが、
①総合家庭医の充実や訪問診察などの充実は実現するのか。
②外科や眼科は受診できるのか。
③レスパイト入院を含む一般診療入院はできるのか。
④全てのがん治療ができるのか。

A ①地域医療充実のために総合家庭医の確保に取り組んでいるところです。
②幅広い診療ができる総合診療医の充実を図るとともに、専門的な治療が必要な場合は市立能登川病院のアイセンターなどをご利用いただければと考えています。
③従来通り利用できるものと考えています。
④リニアックでの放射線治療と乳がんの手術療法ができます。

Q 今年度産米の価格が暴落し政府が示すコスト指標2万5335円を大幅に下回っている。営農組織、新規就農者、大規模農家も赤字になり、離農が進むことになる。農業者の実態調査をして、物価高騰分の緊急支援をすべきでは。


蒲生医療センター改修工事の視察

A 農業経営のみならず地域経済に大きな影響を及ぼすものと危惧しています。
ＪＡや農業委員会を通じて把握に努めており、改めて調査する必要はないと考えています。
支援策は状況を見極めながら講じる必要があると考えています。



太陽クラブ

輝き、魅力あるまちづくり

安田　高玄

Q 現在、太郎坊宮周辺では土地改良が進められ、今後も道路整備や駐車場整備、さらには飲食店や土産店などの進出も進められると聞いている。
太郎坊宮では3年前から石段を駆け上がるイベント「太郎坊チャレンジ」が開催されており、年々参加者も増え、知名度や注目度が上がってきている。
さらなる事業拡大には、地元住民の協力や近江鉄道をはじめとした民間企業、観光協会、経済団体、太郎坊宮そして行政とのしっかりとしたタッグが必要不可欠と考えるが、本市の動きや思いは。

A 本市は大会を後援しているほか、広報紙に参加者募集の掲載、報道機関への情報提供などを行っています。
このイベントが盛り上がることは地域の活性化や本市の認知度向上に寄与するものと考えており、引き続き実行委員会と連携を図りながら大会を盛り上げていきたいと考えています。



Q 八日市文化芸術会館の今後について、先日、文化芸術振興拠点施設基本構想・基本計画策定業務の委託先が決定したが、大規模修繕か、建て替えか、移転建築か。コンセプトや席数などの規模感は。

A 現在着手した基本構想・基本計画策定の中で検討することとしており、現地点で回答できる材料を持ち合わせていません。



太陽クラブ

命を守る個別避難計画の作成を

松本　喜美

Q 避難行動要支援者への支援と個別避難計画について、
①令和7年9月定例会の議会答弁では、避難行動要支援者名簿登録者数2591人に対し、個別避難計画の作成数は121人、作成率は4・7%だったが、その後の推移は。
②具体的な作成手順は。
③優先的に作成する対象者の基準は。
④見直し方法は。
⑤指定避難所への避難が困難な場合、計画作成時点で事前に調整し、福祉避難所などへ直接避難できる仕組みを検討しては。

A ①令和8年8月1日時点の名簿登録者数は2310人、計画作成人数は148人、作成率は6・4%です。
②保健所や地域の自主防災組織、自治会などから計画作成が必要な方々の情報が入った後、本人の心身状況、家族構成、家屋構造など個別具体的な内容を詳細に確認し、関係者と避難経路などを協議し、計画を作成します。
③自ら避難することが困難な方や在宅で医療機器を使用されている方を優先しています。
④対象者の状態の変化や支援者の変更など、本人や家族などからの報告により見直しを実施します。
⑤受け入れ体制や対象要件などに関わる多くの課題を整理する必要があるため、その実現可能性を含め検討を進めます。





太陽クラブ

国の制度を積極的に

戸嶋　幸司

Q 市内14地区で精力的に活動していただいているまちづくり協議会だが、設立から20年近く経った中で、さまざまな課題に直面しているという声も聞こえている。
近年のまちづくり協議会が抱える課題をどう捉えているのか。

A 設立から約20年が経過し、少子高齢化や人口減少に伴う「役員の高齢化・固定化」や「担い手不足」が共通の課題となっています。
特に、実務の中核を担う事務局長などの後継者の確保やそれに伴う人件費などの運営財源の確保が課題であり、組織の持続可能性をいかに担保するかが重要であると認識しています。

Q 総務省が2009年から導入している「集落支援員制度」について、
①この制度をどう評価しているか。
②本市でも積極的に活用し、地域の伴走役となる人材を配置する考えは。

A ①集落支援員制度は、地域課題の把握や合意形成、地域運営組織の機能強化を支える上で有効な制度ではあると評価しています。
②他自治体の成果と課題の双方を検証し、各地区の実情や意向を丁寧に伺いながら、制度活用の可能性について慎重に調査・検討していきます。



総務省ホームページより

22人に聞きました

思い出の1曲は？



西川　清里
万葉会
槇原敬之「どんなときも。」
当時小学6年生。自分への応援ソング。ラジオで聴いていました。



松本　喜美
太陽クラブ
ザ・ブルーハーツ
「TRAIN-TRAIN」
中3の冬、教室で仲間と歌った思い出の曲。



奥村　忠彦
東近江市民クラブ
森田公一とトップギャラン
「青春時代」
初めて買ってもらったレコードです。



山下　敦司
公明党
サザンオールスターズ
学生時代、メロディーラインとおちゃめな曲に出会い大好きになりました。



澤居　寛明
東近江市民クラブ
槇原敬之「遠く遠く」
もうひと頑張りしたい時に聞く一曲です。



森　鉄兵
東近江市民クラブ
「A Hard Day's Night」
高2の時に出場したビートルズコピーバンドコンテストで演奏した思い出の1曲。



中村　和広
万葉会
10-FEET「第ゼロ感」
映画スラムダンクで青春の熱い思いが再燃した曲。



小梶　昌巳
無会派
うなずきトリオ
「うなずきマーチ」
♪お小遣いで♪初めて買ったレコード♪



山本　直彦
東近江市民クラブ
山根康広
「Get Along Together」
学生時代、初めてキーボードで練習したけど弾けなかったな。



青山　孝司
東近江市民クラブ
ケツメイシ「こっちおいで」
今でもケツメライブ行ってます。今度は孫と一緒に行きたいです。



鈴木　則彦
東近江市民クラブ
「みかんの花咲く丘」
母に初めて教わった童謡。当時2歳未満でした。



西村　和恭
東近江市民クラブ
井上陽水「氷の世界」
初めて買ったLPレコードのタイトル。フォーク、ロックへの目覚めの一曲。



田井中 丈三
東近江市民クラブ
♪比良の山並み後にして♪
青年団活動に没頭の頃、滋賀青年の船でマニラへ、その団歌



吉坂　豊
公明党
「六甲おろし」
甲子園球場全体で全国のトラ吉の皆さんと阪神タイガース勝利を歌う幸せ‼



戸嶋　幸司
太陽クラブ
映画『天使にラブ・ソングを2』のラストで流れた「Joyful, Joyful」は今でも心を揺さぶられます♪



西﨑　彰
東近江市民クラブ
E. YAZAWA
「ウイスキー・コーク」
佐々木清次「負けてたまるか」
自分自身が一番苦しいときに元気をもらった歌



安田　高玄
太陽クラブ
渡辺美里「My Revolution」
この曲を聴いて、今の仕事を選んだ。



西澤　由男
東近江市民クラブ
『ふるさと』
「志を果たしていつの日にか帰らん」という歌詞を聞く度、身に沁みます。



市木　徹
東近江市民クラブ
「海行かば」
万葉の政治家大伴家持の詞で第2国歌。昭和の大合併時に、命を落とした祖父の政治観を想う。



山中　一志
日本共産党議員団
Portishead「Glory Box」
ダウナー系POPS、空気感、独特な声の質感が何故か心に刺さる。



大橋　保治
東近江市民クラブ
一青窈「ハナミズキ」
君と好きな人が　百年続きますように　のフレーズが好きです。



田郷　正
日本共産党議員団
赤い鳥「翼をください」
結婚式披露宴で私はベースギター、パートナーが歌いました！



未来へつなぐ 東近江市

第13回

市民と議会の意見交換会

10月17日、ショッピングプラザアピア4階のアピアホールで、第13回「市民と議会の意見交換会」を開催し、約60人の皆さんにご参加いただきました。この会は、議会の活動や取り組みを市民の皆さんにお知らせするとともに、市政に対するご意見や日頃感じていることなどを直接伺うために開催しています。

第1部では、3つの委員会から市議会の取り組みを報告しました。第2部では、ワールドカフェ方式を取り入れた意見交換会を行いました。参加者と議員が各テーブルに分かれ、お茶を飲みながら、身近なまちの課題やこれからの東近江市について、和やかな雰囲気の中で意見を交わしました。





今回は「未来へつなぐ東近江市」を全体テーマに、総務常任委員会は「防災の観点から見た東近江市の未来」、福祉教育こども常任委員会は「子育てしやすいまちにするには？」、産業建設常任委員会は「オーガニックビレッジ宣言に期待すること」をテーマとして、市民の皆さんとともに東近江市の未来について語り合いました。

防災の観点から見た東近江市の未来

総務常任委員会

- 自治会の加入者や役員の担い手が減少する中、災害時に誰が地域を支えるのか。自治会ごとに防災組織や備蓄、避難支援体制を把握し、課題を見える化しては。
- サラリーマンが増えている今、消防団組織を見直す必要がある。特定の役割に限った参加など、幅広い世代が参加しやすい仕組みを具体的に検討しては。
- 自治会や消防団だけに負担を集中させず、行政と地域の役割や支援内容を明確にし、互いに支え合う体制が必要では。
- 避難所の立地条件、空調の有無、備蓄用品、初期消火設備を見直し、災害の種類や避難者の状況に応じて、誰もが安全・快適に過ごせる環境を整えてほしい。
- 高齢者や障害のある人など、避難に支援が必要な人を地域でどう支えるか。女性のプライバシーを尊重した避難所運営を平時から決めておく必要がある。
- 避難所を整えるだけでなく、ＨＵＧ（避難所運営ゲーム）などを活用し、住民自身が考え、行動できる実践的な訓練を増やしては。

子育てしやすいまちにするには？

福祉教育こども常任委員会

- 地域の子育て力が弱くなる中、子育てを親だけに任せず、地域と行政が一体となって子どもを育て、見守る仕組みが必要ではないか。
- 子育て世帯が孤立しないよう、親同士の交流の場やファミリーサポートセンターなどの支援体制を充実させ、必要な子育て情報が届くようにしてほしい。
- 発達支援や特別な才能を持つ子ども（ギフテッド）への教育など、一人一人の個性や特性に応じた支援を充実させ、誰もが大切にされる教育環境を整えてほしい。
- 子育てや教育への予算を確保し、教員不足への対応を進めるとともに、部活動をはじめとするスポーツや文化活動など、子どもたちの多様な体験機会を確保してほしい。
- 小中学校の体育館や武道場へのエアコン設置を早めてほしい。また、通学路の除雪や公園の安全対策など、子どもが安心して過ごせる環境を整えてほしい。
- 市役所の開庁時間短縮に伴い、ハピネスなど子育て支援施設の開庁時間も短くなり、不便を感じている。子育て世帯に配慮してほしい。

オーガニックビレッジ宣言に期待すること

産業建設常任委員会

- 子どもに安心して食べさせられるものを作ることに大賛成。地元の食材を無農薬で給食に出してほしい。健康寿命延伸にも有効。
- 量より質を問われる時代に誇りをもって農業に取り組みたい。無農薬の安心でおいしいお米なら付加価値が付き、高値でも買い手がつく。儲かる農業も夢ではない。
- 推奨されている大規模スマート農業と両立できるのかは疑問。やはり大量生産で安価なお米を求められるのでは？オーガニックだけに頼るのは心配。
- 担い手不足の時代に手間のかかる無農薬栽培が可能か？農福連携など異業種・異分野との連携で新しい担い手が獲得できないか。相談しあえる仲間がいると心強い。
- とにかく市民にその想いと価値を知ってもらうことが大切。行政視察に他市から来てもらうくらいの取り組みに育てることが大事。
- 生物多様性など、自然を守る観点からも農業は大切。保水能力、治水機能としても大事なので応援したい。みんなでお米を食べましょう。

参加者アンケートより（一部抜粋）

- 前々回参加して有意義だったので参加。今後も続けてほしい
- ２５年ほど住んでいて初めて知り参加。要宣伝！
- 市民や議員と話をする機会はそんなに無いのでためになって楽しかった
- 普段から議論の場を設けてほしい
- １ローテーション１５分では短い
- 他の人の意見が聞けて良かった。付箋に書くのは残るし良い
- 山の廃れ、田畑の今後はオーガニックビレッジ宣言に期待
- 市長の批判の場ではない。ホストが制止するべき
- テーマが決まっていたため話したかったことが言えなかった

令和8年9月定例会 議案の審議結果

○･･･賛成　×･･･反対（議長は採決に加わらない）

議案等の名称	会派名	東近江市民クラブ												太陽クラブ			日本共産党		公明党		万葉会		会派無
	結果	賛成・反対	奥村忠彦	澤居寛明	森鉄兵	山本直彦	青山孝司	鈴木則彦	西村和恭	田井中丈三	西崎彰	西澤由男	市木徹	大橋保治	松本喜美	戸嶋幸司	安田高玄	山中一志	田郷正	山下敦司	吉坂豊	西川清里	中村和広	小梶昌巳
議案第44号　令和７年度東近江市一般会計決算の認定について	認定	19・2	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第45号　令和７年度東近江市国民健康保険（事業勘定）特別会計決算の認定について	認定	19・2	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第46号　令和７年度東近江市国民健康保険（施設勘定）特別会計決算の認定について	認定	19・2	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第47号　令和７年度東近江市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	19・2	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第48号　令和７年度東近江市介護保険特別会計決算の認定について	認定	19・2	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第50号　令和７年度東近江市産業用地開発事業特別会計決算の認定について	認定	19・2	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第53号　令和７年度東近江市病院事業会計決算の認定について	認定	19・2	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第59号　東近江市国民健康保険診療所条例及び東近江市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	19・2	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第62号　東近江市公共下水道使用料条例及び東近江市農業集落排水処理施設使用料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	19・2	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
意見書案第４号　核兵器禁止条約第１回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書	否決	10・11	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

その他の議案は全会一致で可決、認定及び同意されました。詳細は「東近江市議会」のホームページで検索してください。

12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/29	30 開会	12/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10 一般質問	11 一般質問	12
13	14 一般質問	15	16 総務・福祉教育こども常任委員会	17 福祉教育こども・産業建設常任委員会	18	19
20	21	22 予算決算常任委員会	23	24 閉会	25	26
27				31	1/1	2

※各日とも午前9時30分から開始します。
※日程および時間は、変更になる場合があります。

議会の傍聴

東近江市議会では、皆さまの傍聴をお待ちしています。
ご希望の方は、傍聴される当日に市役所本館３階の議会事務局窓口までお越しください。

テレビ中継

本会議の中継は、東近江スマイルネットのコミュニティチャンネルでご覧いただけます。

インターネット中継

東近江市議会では、本会議の模様をインターネットでライブ配信（生中継）・録画配信しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

議会だよりの発行

東近江市議会だよりは、２月、5月、8月、11月に発行しています。

東近江市議会だより

編集後記

昨年の改選から早くも1年が経ちました。過日の臨時会では議長、副議長をはじめ各常任委員会の正副委員長が新たに選出されました。

当議会だより編集委員会も新たなメンバーを迎え、9名体制となりました。

これからも市民の皆さんに議会活動や政治について、少しでもわかりやすく興味を持ってもらえる紙面づくりを目指してまいります。ご意見ご要望などございましたら、ぜひ議会事務局へお届けください。

戸嶋　幸司



議会だより編集委員会

【後列】奥村忠彦　山下敦司　澤居寛明　松本喜美　西川清里
【前列】山中一志　森鉄兵 副委員長　戸嶋幸司 委員長　小梶昌巳

東近江市 議会だより
第87号（2026.11.20発行）　発行／東近江市議会　編集／議会だより編集委員
〒527-8527　滋賀県東近江市八日市緑町10番5号
TEL 0748-24-5680（直通）　IP 050-5801-5680　FAX 0748-24-5568